

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報

				令和	2	年度	
事業番号	315		事業名	森林環境整備事業			
担当課	産業観光課		担当係	林業水産係	担当者	山崎 将史	
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	活力ある産業づくり		連絡先	0858-76-0208	
	施策体系	1	農林水産業の振興		事業区分	■新規 □継続	
	主な事業	森林整備の推進等		事業実施主体		■八頭町 □その他	
予算区分	款	5	農林水産業費		計画期間	開始	—
	項	2	林業費			終了	—
	目	2	林業振興費				
	事業	315	森林環境整備事業				

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 一般住民、森林所有者、林業従事者、森林組合等		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 森林の適正な整備や林業従事者の待遇改善、木材の有効活用、町民の森林への関心向上を推進するため、森林環境譲与税を活用した事業を実施する。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 森林経営管理制度の推進、林業従事者の待遇改善、木育の推進、木材利活用の検討、林業の普及啓発等		
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 森林経営管理制度に基づく森林の集積、林業従事者への支援制度の創設、新生児に対する木製玩具の贈呈、バイオマス利用に係るコスト試算、林業トークセッションの開催		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 適正に管理された森林の増加、林業就業者数の増加、町内での木材利用の増加、住民の森林に対する関心の向上		
根拠法令等	1	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし 法令等名→ 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律	

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし
	A	人	森林経営管理制度意向調査実施人数
	B	人	木製玩具贈呈人数
	C		
	D		
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	A	ha	経営管理権集積面積
	B	人	林業従事者支援人数
	C		
	D		

4 コスト

区分		単位	H29年度	H30年度	R1年度		R2年度		R3年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	人			300	346	1,000	274	1,000
	B	人			-		100	100	100
	C								
	D								
成果指標	A	ha			-		-	0	20
	B	人			-		20	59	20
	C								
	D								
トータルコスト		千円	0	0	46,559	0	28,662	36,428	40,300
担当職員数		人			1.5		1.5	1.5	1.5
職員人件費		千円	0	0	12,000	0	12,000	12,000	12,000
事業費		千円			34,559		16,662	24,428	28,300
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円			14,147				
	地方債(借入金)	千円			3,100				
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
一般財源(単町費)		千円			17,312	0	16,662	24,428	28,300

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・結果及び成果(到達点)(D)	令和	2	年度
実施活動内容・結果及び成果(到達点)	実施活動内容・結果(何をしたのか)		
	森林の適正な整備や林業従事者の待遇改善、木材の有効活用、町民の森林への関心向上を推進するため、森林環境譲与税を活用した事業を実施。具体的には以下のとおり。 ・森林経営管理制度に基づく意向調査を274人(435ha)に実施。 ・木育推進のため八頭町産ヒノキを使用した積み木を誕生祝として100セット製作。 ・木質バイオマス導入可能性調査、航空レーザを活用した森林解析を実施。 ・担い手育成のため林業従事者の安全用具やデジタル機器購入に対して助成を実施。		
実施活動内容・結果及び成果(到達点)	内容・結果に基づく成果(どうなったのか)		
	・森林経営管理制度を推進することで町民の森林整備に対する意識向上につながった。 ・八頭町産の木材を使用した積み木を贈呈することで、子育て世代に対して森林・林業に対する親しみ取組みができた。(アンケート調査でも木材への親しみが増したと回答がほとんどであった) ・町内施設に対して木質バイオマスボイラー導入を導入する場合、コスト面では現在の熱源には劣るが、地域循環効果、エネルギー自給率効果、CO2削減効果等があり、導入に対しての検討判断材料ができた。森林解析を行うことで、意向調査等の森林資源の把握が容易になった。 ・林業従事者に対して前年度聞き取り調査を行い、安全用具等購入の個人負担が厳しいと回答があった。森林環境譲与税で助成を行うことで林業従事者の待遇改善につながった。		

6 事務事業の評価(C)

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていく必要性は非常に高い。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	森林の適正な整備や林業従事者の待遇改善、木材の有効活用、町民の森林への関心向上を推進するため、森林環境譲与税が町に交付され事業実施を行う。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無い)	13	20	①効率的である	現在、森林経営管理制度は意向調査の段階であり、実際の森林整備は令和3年度以降である。森林環境譲与税を基金として積み立てし後年に効率的な森林整備を行う。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	八頭町の森林は標準伐期を超えている森林が8割であるため計画的な森林整備が必要である。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	森林整備に関しては成果は現れていないが、林業従事者の待遇改善については、実際の従事者から聞き取りを行い必要な助成制度を構築。また、木育のための積み木贈呈事業では、アンケート調査を実施し受業者からは高評価を得ている。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
2	1、拡充する	80点以上	79	本事業は森林環境譲与税を財源とし、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等を行います。事業を継続することで、これまで手入りが十分に行われてこなかった森林の整備が進展するとともに、生産された木材を利用することや、森林・林業に対する理解の醸成や、山村の振興等につながることが期待されます。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点		
	4、見直しの上縮小する	40～49点	2	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
2	1、拡充する	近年、林業採算性の悪化による林業生産活動の停滞、森林所有者の高齢化、不在村化等を背景として、森林所有者の森林施業意欲の減退により適時適切な森林施業が十分に行われない森林が発生するなど、国土保全、水源涵養、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたしかねない状態となっている。本事業においては、森林が持つ公益的機能を適切な発揮させるため、森林環境保全税を活用し、計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林施業の集約化に必要な森林情報の収集活動、木育啓発、林業担い手支援等を行っている。令和元年度には、航空レーザ計測による森林解析を開始し、今年度はレーザ測量用にドローンを購入しており、今後もそれらを活用した森林整備の実施に期待したい。森林経営管理制度推進については、林業事業者等との連携を図りながら、所有者へ制度についての丁寧な説明をおこなうとともに先進・優良事例の研究等も含め、事業をより円滑に推進することのできる手法について検討を進め、効果的な事業実施に努めていただきたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 問題点及び今後の課題・方向性(A)

問題点	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当とする事柄、改善点、工夫したい箇所 所有者不明森林や不在村所有者の森林への無関心等による森林整備の遅れている。
今後の課題・方向性	上記問題点を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか(課題) 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度を計画的に推進する。